

第2回川端康成のこころを詠む いばらき朗読コンクール

【課題作】 指定箇所

	作品名	出典/刊行年	頁数	本文（始：読み始め 終：読み終わり）
1	伊豆の踊子	新潮文庫『伊豆の踊子』 <新装版> 令和4年7月1日 新版発行 令和5年4月10日 二刷	44～45 頁	始：はしけはひどく揺れた。 終：その後には何も残らないような甘い快さだった。
2	雪国	新潮文庫『雪国』 <新装版> 令和4年6月1日 新版発行 令和6年12月10日 四刷	83～85 頁	始：汽車が動くと直ぐ待合室のガラスが光って、 終：男は行商人かなにかだろう。
3	山の音	新潮文庫『山の音』 <新装版> 令和4年4月1日新版発行 令和6年6月5日 三刷	11～13 頁	始：八月の十日前だが、虫が鳴いている。 終：信吾は言いそうだったが、言わなかった。
4	故園	川端康成全集 第23巻 (新潮社 1981年2月)	486 頁 11 行目 488 頁 終わり	始：松並木が見えと、「なあんだ…八丁の 終：思っていることだった。
5	私のふるさと	川端康成全集 第33巻 (新潮社 1982年5月)	187～189 頁	(全文)
6	日向	新潮文庫『掌の小説』 <新装版> 令和4年4月1日 新版発行 令和6年6月30日 四刷	27～30 頁	始：私には、傍にいる人の顔をじろじろ見て 終：砂浜の日向へ出てみたくなった。
7	百合	新潮文庫『掌の小説』 <新装版> 令和4年4月1日 新版発行 令和6年6月30日 四刷	217～218 頁	(全文)
8	ざくろ	新潮文庫『掌の小説』 <新装版> 令和4年4月1日 新版発行 令和6年6月30日 四刷	476～478 頁	始：一夜の木枯にざくろの葉は散りつくした。 終：啓吉はざくろを落とした。

【お問い合わせ】

公益財団法人茨木市文化振興財団 文化事業係

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号

茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）

TEL：072-625-3055（10:00～17:00） MAIL：bunkajigyo@ibabun.jp